

株式会社ACR 2006年2月 1版

1

エア抜き手順

この手順書では新規搭載や燃料関連部品を交換した時に不可欠なIP抜き作業の手順を 説明します。IP抜きに関してはNXPR全シリース、共通です。 IP抜き不良だと自動点検NGや走行時IFー判定に繋がります。確実なIP抜きを行なって下さい。 IP抜きを開始する前に下記項目を確認して下さい。 ①パソコンに自動点検がインストールされている事。 ②車両側燃料配管のIP抜きが終わっている事。

③FDSブリーダーから排出される燃料受けが用意されている事。 ※エア抜きの際、燃料の受けをキャッチタンクで行うとキャッチタンクが満杯になり、何回か流す必要が あります。FDSブリーダー~車両燃料タンクロまで届くホースを用意するとその手間は省けます。





5)<ホ[°]ンフ[°]スタート>をクリックするとホ[°]ンフ[°]が強制的に動きます。 ブリーダーから燃料が出てくる事を確認して下さい。 燃料が出てきてから5~10分位エア抜きを行って下さい。



6)時間経過後、エアの混入が見られない様であれば <停止>をクリックして下さい。



7)ポンプ停止後<エア抜きモート、終了>をクリックして下さい。 エア抜きが終了です。



8)<停止>をクリックする前に<エア抜きモートi終了>を クリックすると<警告>画面が表示されます。 <OK>をクリック後、<停止>をクリックしてから <エア抜きモートi終了>をクリックして下さい。

データ保存手順

この手順書ではNCUが記憶している走行データをCSVファイル形式で保存する方法を説明 します。走行時に黄色ランプが一時的に点滅したが、その後は再発しないという不具合に 対してもデータを確認すれば原因の特定が行えます。自動点検と同様に故障原因の特定に 大きな役割を担うものなので確実に行って下さい。データ保存前に下記項目を確認して下さい。 ①パソコンの電源が確保されている事

②パソコンに自動点検がインストールされている事。



1) パソコンのデスクトップにある<NCU自動点検起動>のアイコンを選択し、 起動させます。



COMボート選択
使用するCOMボートを選択し、「OK」ボタンを クリックしてください。 「終了」ボタンでブログラムを終了します。

NGU専用 自動点検 Ver.2.2.13			
日付 2007/07/03 シリアル	No. 9A0384	エンジン型式 J08C	シリーズ β
 唐敏特点核 割進ロガー アータ吸 点核項目 緊急停止スイッチチェック センサ短絡/断線チェック センサ動作チェック センサ動作チェック エア抜きチェック 燃料漏れチェック 通報動作チェック 福報動作チェック 	NBT データ NOX 「 0 F 入口圧 「 - 88 F 然圧 「 74 F ポンプ電流 「 自動点検開数	ppm 入口過 87 ℃ Pa 差圧1 86 Pa Pa 14V 14159 mV 18 mA	出口温 94 °C 差圧2 0 Pa BATT 25245 mV エア抜き
インジケータチェック 	点橡内容	判定下限 判定上限	

3) USBケーブルを用いないでパソコンと 繋いでいる場合はCOM1を、USB ケーブルを用いている場合はパソコンで 設定されているCOMポートを選択して <OK>をクリックして下さい。

4)自動点検画面が起動します。 <データ吸い上げ>をクリックして 下さい。

NCU専用 自動点検 Ver	.2.2.9		
日付 2007/04/23	シリアルNo. 900474	エンジン型式 6HH1	シリーズ β
搭載時点後 測温口ガー	子-3版UEF] データ吸		
			補助機能 SHIFT+F8
点検項目	点検内容	判定下限 判定上的	& 測定値 単位 判定

5) < データ吸い上げ開始>をクリックして 下さい。



6)<データ保存>画面が表示されます。データ数により 保存時間が前後します。長い場合は10~15分程 掛かります。



7)データ保存が終了しました。データは自動的にく自動点検 データフォルダ>内にCSVファイル形式で保存されます。 <OK>をクリックして下さい。



NCU専用 自動点検 Ver	2.2.9		
日村 2007/04/23	シリアルNo. 9C0474	エンジン型式 6HH1	シリーズ β
搭載時点検 測温ロガー	データ吸い上げ		
	データ吸い	い上げ開始	
			補助機能 SHIFT+F8
占检证日	占拾内应	「判定下限」判定上限	1 測定体 1 単位 1 判定 1
	200 JUL 10	THE THE THELER	MORE THE TAC
(*			

8)<終了>をクリックして画面を閉じて 下さい。データ保存は完了です。 不具合発生時には自動点検データと ログデータの2点をお手数ですが下記 アドレス宛にメール添付で送って下さい。

service@esr-ltd.jp

※販売取扱店様で自動点検データを 保存される場合はファイルの名前を ューザー様名、登録ナンバー等に変えて 保存する事をお勧めします。

自動点検手順

この手順書ではNXPR4-01(いすゞ4H系ェンジン)とNXPR3-03(日野J07、J08エンジン)/都県市対応、 三菱6D16、6D17エンジン、日産ディーゼルFE6)の自動点検手順を説明します。NXPR3-01(日野J系 エンジン/都県市未対応)とNXPR3-02(いすゞ6HH1エンジン)の自動点検手順とは異なります。 パンコンにて自動点検を開始する前に下記項目を確認して下さい。 ①パンコンの電源が確保されている事 ②パンコンに自動点検がインストールされている事。 ③車両及びNXPR装置の燃料配管内のエア抜きが完了している事。 ④※緊急停止スイッチのOFF/ONが容易にできる状態である事。 ⑤※NXPR出口より後ろの排気配管が外れている事。 ※点検目的によっては省略可



1) パソコンのデスクトップにある<NCU自動点検起動>のアイコンを選択し、 起動させます。



4)自動点検画面が起動します。 <自動点検開始>をクリックして 下さい。

CU専用 自動点検 Ver.2.2.13			
日付 2007/07/03 シリアル	PNo. 1940384	ンジン型式 1080	シリーズ 3
搭載時点棟 測温ロガー データ吸	NE#		
点検項目 緊急停止スイッチチェック センリ短絡/断線チェック 補償仮給/断線チェック	データ NOX 0 ppm 入口匠 - 65 Pa 然圧 74 kPa	入口温 87 ℃ 整圧1 87 ℃ 14V 14159 mV	出口温 94 ℃ 截圧2 0 Pa BATT 25248 mV
センサ動作チェック エア集ぎチェック 気目溢れチェック 油菜動作チェック インジケータチェック	本/分配》 18	リセット	終了
点被項目	点物内容	判定下限 判定上限	激定值 単位 判定



選択

はい

配管の付け外しによる流量調整を行いますか?

いいえ

5)新規搭載時点検もしくは緊急停止スイッチの 点検を要する場合はくはい>を、それ以外で あればくいいえ>を選択して下さい。 この手順書ではく緊急停止スイッチ確認>有りで 行います。

6)新規搭載時点検はもちろん、排気管の取回し 変更もしくはNXPR本体の構成部品を交換した 場合等、排気抵抗が変わる場合やNCU、フロント 圧力センサー、リア圧力センサー等、圧力を検知する 部品を交換した場合はくはい>を、それ以外 であればくいいえ>を選択して下さい。 この手順書ではく流量調整>有りで行います。



7) < 流量調整>選択画面で<はい>を選択 した場合、左記の注意画面が表示されます。 マフラー配管が付いている場合は画面指示通り に取外して下さい。マフラー配管が外れている 場合はくはい>をクリックして下さい。



8)自動点検画面上覧右側に表示されている 車両のくエンジン型式>とNXPR本体のくシリースン が点検車両と相違が無い事を確認して問題が 無ければ<OK>を選択して下さい。

NCU専用 自動直検 Ver.2.2.13		
日付 2007/07/03 シリアノ	ルNo. 940384 エンジン型式 308C シリー	X B
指載時点検 潮温ロガー データの	RVEF	
A検知日 S22府よスイッチチェック V2/15総子転向ク V2/15総子転向ク H磁振路/15総チェック V2/15総件チェック V2/15総件チェック S2和温社チェック M磁振作チェック A成振作チェック A成振作チェック A成振作チェック A成振作チェック Aのジリータチェック	データ NXX 0 pom 入口道 65 ℃ 站口道 入口屋 115 Pa 敷屋1 75 Pa 巻屋2 煮圧 106 kPa 14V 1415 mV BATT ポンプ電道 669 mA 3 一排1 10 147ット 美谷	100 ℃ 10 Pa 105120 mV 107指述
シリーズ,エンジン設定 <u> </u>	ビチェックを終了しました。 <u> </u>	₩位 判定 - ○

9)確認事項が終了しました。 この後から装置本体の点検に入ります。 画面が自動的に進行して行きます。



10)画面指示通りに緊急停止スイッチを目一杯、 押し込んで下さい。この項目ではスイッチが押された 状態ではNCUIこパッテリー電源が入らないかを確認 しています。中途半端な位置だとNCU電源の絶縁が できずNG判定になるので必ず、押切った状態で 画面指示が出た後に<OK>をクリックして下さい。



11)画面指示通りに手順を踏んで下さい。 手順を誤るとパソコンとの通信はできるが NCUにバッテリー電源が掛からない為、 電圧不良でNG判定となります。

3ft 2007/07/03	シリアルNo. 1940384	エンジン型式 3080	シリーズ β
動時点検 潮温ロガ・	- データ吸い上げ		
 	データ NOX 0 入口圧 一切 加圧 30 ポンプ電流 1 中の	ppm 入口進 85 Pa 差圧1 62 kPa 14V 14159 27 mA	び 出口違 69 ℃ Pa 整臣2 0 Pa mV BATT 25152 mV エア指さ
エア we テキ: 然料温れチェ 補償動作チェ インジケータチ:	ック ック自動点検開;	台 リセット	終了
急停止スイッ	チチェックを終了しまし	た.	
点検項目 ROM達 緊急停止スイッチ	<u>点検内容</u> エンプン・シリーズチェック 緊急停止スイッチチェック	判定下限 判定	一課 規定値単位 単定 二 二 ○

12)異常が無ければ緊急停止スイッチの 点検が終了します。 画面が自動進行していきますので そのまま、お待ち下さい。

※NXPRメインハーネスがハッテリーに接続 されている時は緊急停止スイッチ背面の 端子部にハッテリー電圧が掛かっている ので端子部を車両金属部に接触させ ない様に注意して下さい。接触すると NXPRメインハーネスハッテリー端子側10A ヒュース、切れの原因になります。

NGU専用 自動点検 Ver.2.2.13						
日付 2007/07/03 シリアルト	No. 1940384 IC	・ジン型式 🗔	00C	- 50	ーズ目	_
活動時点検 剤温ロガー データ吸い	197					
- <u>4</u> 線項目 福健距島/転御子ェック センリ動行チェック 変形溢がチェック 電影前チェック インツケータチェック センリ 短絡/断線チェック	データ NOX 0 ppm / 入口匠 一役 Pa d 潮圧 び Pa d 水ノ電気 10 m 増加 自動点検開始	A口道 整圧1 14V 「14 A リセッ	155 °C 165 Pa 1159 mV	出口進「 地圧2「 BATT「	8 2512 17振	5 °C 5 Pa 5 mV
点検項目	点棟内容	利定下限 平	印定上限	測定値	単位	判定 🔺
セノサ短絡/断線 温度センサ(リアドノヨートチェック	-	899	89	1C	8
センサ短編/断線の生センサ	振線チェック	-49	-	13	kPa	8
センサ短給/断線 NOXセンサ(アナログショートチェック	-	4799	805	mV	Õ 📕
and the second second the second			and the second sec			
センザ短船/防線 ビーター防制	ドチェック		1500	0	mV	8

13)この項目ではNCUをキーON状態で 制御させフロント圧力センサー(P1)、リア圧力 センサー(P2)、フロント温度センサー(T1)、リア 温度センサー(T2)、燃圧センサー、Noxセンサー 等、各センサーに通電しショート/断線の 点検を行っています。 各センサーの判定値を下記に示します。

フロント圧力センサー	(P1)-10500~46500Pa範囲外の表示でNG
リア圧力センサー	(P2)-650~3650Pa範囲外の表示でNG
温度センサー	(Fr、Rr共通) 899℃以上の表示でNG
燃圧センサー	-49~899Pa範囲外の表示でNG
Nox724-	(ヒーター) 1500mV以上の表示でNG (出力) 994mV以上の表示でNG
HOX CO 7	(信号) 201~799mV範囲外の表示でNG

NCOSTR 目動点使 Vi	or.2.2.13						
日付 2007/07/03	5/U7/J/No.	エンジン型式		- 540	- * [_	
「搭載時点検」別温ロガー	- データ吸い上げ						
点検項目	データ						
M204.2494	NOX 0 P	m 入口温 ┌──	91 °C	出口温 [8	97 °C	
122030823008	入口任 -21 P	· 苍庄1	-3 Pa	甚田2		0 Pa	
10000-000	第日 177 k	Pa 14V	14159 mV	BATT	252	mV 🕅	
センサ動作チェ	ック ポンプ電道 第	3 mA			エア排	13	
エア抜きチェッ	ク 操作						
燃料漏れチェ	92		1			1	
補襟動作チェ	ック 自動点検開始	リセ	ット		終了		
インジケータチョ	192						
補機短絡/断線	チェックを終了しました	•					
補機短絡/断編	チェックを終了しました	• 判定下限	判定上限	測定值	単位	判定	~
補機短絡/断約 	チェックを終了しました <u> </u>	•	判定上限	測定值	単位	<u>判定</u>	^
補機短絡/町新 	チェックを終了しました <u> </u>	• 判定下限 -	利定上限) 測定値 	- - -	<u>判定</u>	^
補機短絡/斯納 <u> - 4枚項目</u> 補用5倍/所線 補用5倍/所線 補用5倍/所線 補用5倍/所線	また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、	•	判定上限 - -	潮定值 - -	<u>順位</u> - -	<u>判定</u> 000000000000000000000000000000000000	^
補機短線/町線 補限時後/防線 補限時後/防線 補限時後/防線 補限時後/防線 補限時後/防線 補限時後/防線	チェックを終了しました 3.0./イド/ヨートチェック 3.0./イド/ヨートチェック 3.0./イド/新潟チェック ポンプショートチェック ポンプジョーチェック ポンプジョーチェック パンプジョーチェック パンプジョーチェック	• 単定下環 - - - - - - - - - - - - -	単位上限 - - 1500 260	測定值 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	単位 - - kPa kPa	<u>Ma</u>	~

14)この項目ではNCUをキーON状態で インシェクター、FDS構成部品(ソレノイト、、ホンプ) に通電を行いショート/断線の点検を行う のとフロント圧力センサー、リア圧力センサーの 部品初期個体差による0点ズレ幅を 確認しています。 各補機の判定値を下記に示します。

インジェクター	2000mA以上の検知でNG
FDS構成部品	(ソレノイド①、②共通)51~4999mA範囲外の検知でN (ポンプ)51~5999mA範囲外の検知でNG



15)画面指示通りにエンジンを始動して 下さい。この項目ではアイトリング時の排気 抵抗と排気温度を各圧力センサーと各温度 センサーで検知し、NCUに認識させてます。

NGU専用 自動点検 Ver.2.2.13							
日付 2007/07/03 シリアル	No. 940384 I.	バジン型式	100C	- 30	- <i>X</i>	_	
搭載時点検 熊温ロガー データ吸	NB91						
	データ NOX 0 ppm 入口臣 419 Pa 然臣 141 kPa ポンプ電流 27 m	入口進 差圧1 14V A	90 °C 160 Pa 14159 mV	出口温「 差圧2 「 BATT 「	10 2633 エア抜	5 °C 0 Pa 5 mV	
エア株きチェック 営利漏れチェック 通磁動作チェック インジケータチェック	自動点検開始	リセ	%	4	终了		
アクセルをゆっくりと踏る	み込んでください。						-
本様項目 薄積空経ン新線、ソレイドS 薄積空経ン新線、メレノイドS 薄積空経ン新線、ポンプショ 薄積空経ン新線、ポンプショ 薄積空経ン新線、オンプション 薄積空経ン新線、オンプセット 薄積空経ン新線、オンセット 薄積空経ン新線、オンセット	点種内容 //2~トチェック (緑チェック ートチェック ドチェック 細囲チェック(P1) 繊囲チェック(P2) 磁囲チェック(P3)	■122 下段 - - 1500 - 350 - 350	単同正上線 - 1500 350 350	測定値 - - -140 72 0	HR(Q - kPa kPa kPa	0000000	

16)画面指示通りにアクセルを踏込んで 下さい、。アクセルの踏込みはアクセルへダルが ストッパーに当るまで踏込み、画面指示が 出るまで保持して下さい。踏込みが甘かっ たり、指示前にアクセルを緩めるとNG判定に なる可能性があります。

NGU専用 自動点検 Ve	1.2.2.13					
日付 2007/07/03	3/U7/LNo. 040384	エンジン型式	J08C	- 50	- <i>X</i> 3	
「搭載時点検」測温ロガー	データ吸い上げ					
- <u>点検項目</u> 	データ NOX 0 pon 丸口圧 5550 Pa 変圧 125 Pa タンプ電気 18 ク 一時作	A口温 菱圧1 14V mA	239 °C 1999 Pa 14169 mV	出口温「 菴圧2「 BATT「	109 0 27840 エア抜き	c Pa mV
福祉動作チェッ インジケータチェ アクセルを戻して	2 ク ック C<ださい。	<u>ישר</u>	»۲		终了	
点検項目	這種內容	判定下限	判定上限	測定值	単位 判	8 🔨
浦根20格/新線 浦根20格/新線 浦根20名/新線 センサ動作 センサ動作 センサ動作	オフセット戦田チェック(PI) オフセット戦田チェック(P2) オフセット戦田チェック(P2) オフセット戦田チェック(P3) 圧力センサロア10年メック 温度センサリア10年メリチェック 温度センサリア0年メリチェック	-1500 -350 -350 1000 100 120 4	1500 350 350 - - -	-140 72 0 4849 1739 234 21	kPa kPa Pa Pa C C C	

17)この項目ではリアマフラーを外してあるので リアマフラー抵抗が無い状態でアクセル踏込時の 排気抵抗と排気温度を各圧力センサーと 各温度センサーで検知し、NCUに認識させて ます。各センサーの判定値を下記に示します。

フロント圧力センサー	P1測定値で1000Pa以上の圧力差が出なければNG。
リア圧力センサー	P2測定値100Pa以上の圧力差が出なければNG。
フロント温度センサー	130℃以上でこの項目が開始されるので130℃以上を表示
リア温度センサー	アイドリング時とアクセルを踏み込んだ時の温度差が4℃未満でNG。

※車両冷機時に自動点検を行うとリア温度センサーが温まりにくいのでNGになりやすいです。 NGが出た時はく項目の最初からやり直す>を選択し、もう一度、実施して下さい。



エンジンをかけて、指示が出るまでしばらくお待ちください。(残り15秒)

点検内容 オフセット範囲チェック(P1) オフセット範囲チェック(P2) オフセット範囲チェック(P3) 圧力センサ(プロント)チェッ

ノア1)チェック フロント)チェ

点棟項目 浦根72話/新線 浦根72話/新線 浦根72話/新線

 ■107 TR8
 ■107 LR8
 ■107 LR8

18)画面指示通りにキーを一度OFFにして、すぐONに して下さい。キーOFF時間が長いと通信エラーが表示 され最初からやり直しになります。 エンジン停止、キーON状態でリアマフラーを取付けて 下さい。取付後、<OK>をクリックして下さい。

> 19)画面指示通りにエンジンを始動 させて下さい。



20) 画面指示通りにアクセルを踏込んで 下さい。先程と同様に目一杯、踏込 んで下さい。踏込みが甘かったり、 指示前にアクセルを緩めるとNG判定に なる可能性があります。



21)この項目ではNPRリヤマフラー配管が 有る時と無い時の排気抵抗差を算出して 燃料噴射制御の基本となる流量補正を 行っています。流量補正が正確に行われ ないと燃費の悪化や白煙過多の原因に 繋がります。



22)車両側及びNXPR燃料配管内のIP抜きが 未実施の場合はエア抜きを実施して下さい。 IP抜きが実施済の場合は<OK>をクリックして 下さい。

> 23)この項目では燃料配管内の圧力と 燃料ポンプ作動時の電流により燃料配管 内のエア混入や詰まりを確認しています。 過度のエア混入時には共に低く、詰まりの 場合は高くなります。 判定基準値を下記に示します。

燃圧 220~350kPa範囲外の表示でNG ポンプ電流 2000mA以下の表示でNG

24)この項目ではFDS構成部品の燃料 ポンプやソレノイドが作動している時として いない時の燃圧差を確認しています。 燃圧差が120kPa以上になるとNG判定に なります。

燃料関連の点検が終了すると自動進行 でNoxセンサーの作動確認に入ります。

NCU専用 自動直検 Ve	r.2.2.13		
日付 2007/07/03	シリアルNo. 1740384 エ	ンジン型式 1080	シリーズ 3
指載時点検 測温ロガー	データ吸い上げ		
- <u>A</u> 検現日 - <u>A</u> 検現日 - <u>A</u> 検現日 - <u>A</u> 検知 - <u>A</u> - <u>A</u>	データ NXX 135 ppm 入口圧 44 Pa 変圧 100 kPa ポンプ電影 16 m - 持作 自動点技問始 ック クを終了しました。	入口道 1114 で 差圧1 1110 Pa 14V 11111 ml A	出口里 178 で 基度2 0 Pa # BATT 27744 mV 工7版さ
点検項目	互稅内容	判定下限 判定上限	測定值 単位 判定 🔨
酒和新作	売れ高((ナエック) アイドル範囲チェック(P1)	120 10000	455 kPa O
注意相談者が行う	アイドル範囲チェック(P2) アイドル範囲チェック(P3)	- 2000	99 kPa O
2前4说象/小11	ポンプ電流チェック	50 4500	2802 mA
201428711	インジェクタチェック NO((ヤンサ制限手ェック(rovs))	- 20	110 kPa O
	THE PROPERTY OF A PARTY OF A PARTY		

25)全補機の動作確認が終了しました。

※画面下から2行目インジェクターチェックの 判定値は20kPaを超えれば自動点検NG にはなりませんが40kPa以下の場合 IP抜き不足が考えられます。この場合、 自動点検をクリアしていても燃料配管内に **I**ア溜りの存在が考えられるので時間 経過後のエンジン始動もしくはNXPR用 インジェクター作動時にエラー(ec=9 インジェ クター詰り)にかかる可能性があります。 お手数ですが自動点検終了後に再度、 エア抜きを実施して下さい。

NCU専用 自動直検 Ve	.2.2.13		
Bft (2007/07/03	シリアルNo. 940384 :	エンジン型式 3000	シリーズ 月
「搭載時点検」潮温ロガー	データ吸い上げ		
	データ HOX TE per 入口臣 であ Pa 第日 735 HPa やン理味 TE HPL 自動点検問始	 入口道「112 ℃ 老庄1 74 Pa 14V 1414 mV mA 	360歳 177 で 単臣2 0 Pa BATT 2774 mV エア単さ
黄と緑のLEDが イッチを3秒以上	組み込まれたインジケー 押し続けてください。	- タが両方点滅す	「るまでリセットス
点被项目	点被内容	判定下限 判定上限	測定値 単位 判定 🔺
25.52.2番れ () () () () () () () () () () () () ()	四日違和チェック(P1) アイドル範囲チェック(P1) アイドル範囲チェック(P2) アイドル範囲チェック(P3) ポンプ電流チェック インジェクラチェック NOXセンサ制御チェック(pv4)	120 - - 10000 - 2000 - 2000 60 4800 - 20 100 200	-7 kPa O 455 kPa O 99 kPa O 0 kPa O 2802 mA O 110 kPa O 195 - O V

26)画面指示通り運転席付近にある インジケータの緑ランプ脇にある凹部分を ペン先等で黄・緑ランプが点滅するまで 長押しして下さい。



27)ランプの同期点滅を確認できたら<OK>を クリックして下さい。

NCU専用 自動直検 Ve	.2.2.13					
日付 (2007/07/03	シリアルNo. 9A0384 エ	ンジン型式	JOBC	- 50	ーズ 3	_
「指載時点検」測温ロガー	データ吸い上げ					
点枝項目	データ					
Managere	NOX 142 ppm		111 'C	出口温	164	10
	入口王 382 Pa	被圧1	119 Pa	差圧2		5 Pa
C.X 3 Mark Chard		10/		DATT		
HERE AND A	x511 219 Kra	14V J	14141 mv	BATT	21116	s mv
E2/946/19 x 1	12 ポンプ電流 18 1	nA			エア振	2
17825-5	-10/10					
インジケータチョ	自動点検開始	IJt	<u>ب</u> ۲		終了	
点検項目	点検内容	判定下限	利定上限	測定值	単位	利定
補稿動作	アイドル範囲チェック(P1) アイドル範囲チェック(P2)	-	10000 2000	455	kPa kPa	8
補稿動作	アイドル範囲チェック(P3)	-	2000	0	kPa	8
「神秘蔵」「「	インジェクタチェック	-	20	110	kPa	ŏ _
補限動作 インジケータ	NOXセンサ制御チェック(pvs) ・インジケータチェック	190	290	195		8

28)インジケーターランプの点検は終了です。 次に画面が自動進行しますので そのままにして下さい。 進行状況 書き換えソフトをダウンロード中です。 終わるまで手を触れないでください。 故障する危険があります。

NGの場合は、センサノ補機の不具合の他、 ハーネス不具合の可能性があります。 両方について確認を行なうようにしてくたさい。

 $\boldsymbol{\Sigma}$

結果

保存

29)各圧力センサーの0点ズレを補正してます。終了 するまで他のパソコン操作はしないで下さい。

30)自動点検データを残す為に<保存>を選択 して下さい。<保存>を選択した場合は<自動 点検データフォルダ>内にCSVファイル形式で自動保存 されます。

Data 自動点検データ フォルダ	

結果

キャンセル



ファイル名内訳 9A0001→NCUシリアル 2008_11_01→日付 (13-10-30)→時間

U専用 自動直検 Ve	r.2.2.13		
日付 2007/07/03	シリアルNo.	エンジン型式	シリーズ
音動時点検 潮温ロガー	- データ吸い上げ		
点検項目	9-9		
緊急停止スイッチョ	NOX 0 PP	m 入口温 107 ℃	出口温 140 ℃
センサ短絡ノ断線	Fェック 入口圧 326 Pa	差圧1 134 Pa	差圧2 0 Pa
補償短絡/断線手	エック 然圧 232 kP	a 14V 14159 mV	BATT 28000 mV
センサ動作チェ	ック ポンプ電流 20	mA	エア抜き
エア抜きチェッ	2 IRM		
思料漏れチェッ	9		\frown
補償動作チェッ	ク 自動点検開始	リセット	終了
インジケータチェ			\smile
	Lt.		
気検が終了しま			
5検が終了しま			
5検が終了しま 6株項目	る種内容	利定下線、利定上線	測定値 単位 判定 🗸
点検が終了しま <u> 点検項目</u> 通告的()	<u> 点検内容</u> アイドル範囲チェック(P1)	判定下線 刊定上線 - 10000	測定値 単位 判定 A 305 kPa Q
点検が終了しま 点検項目 浦岡助作 浦岡助作 浦岡助作 諸岡助作	<u> </u>	単定下線 単定上線 - 10000 - 2000 - 2000	測定値 単位 刊定 A 305 kPa 〇 78 kPa 〇
点検が終了しま <u> </u>	<u> </u>	単定下線 単定上線 - 2000 - 2000 50 4500	<u>期定値 単位 刊定 *</u> 396 kPa 〇 10 kPa 〇 278 mA 〇
<u> </u>	<u> </u>		<u>期定値 単位 刊定 ^</u> 296 kPa 〇 78 kPa 〇 0 kPa 〇 2788 mA 〇 118 kPa 〇

31)自動点検が終了しました。<終了>を クリックし、画面を閉じて下さい。 自動点検完了です。

※新規搭載時には自動点検データのみを不具合発生時には自動点検データとログデータの2点を お手数ですが下記アドレス宛にメール添付で送って下さい。

service@esr-ltd.jp

※販売取扱店様で自動点検データを保存される場合はファイルの名前をユーザー様名、登録ナンバー 等に変えて保存する事をお勧めします。

自動点検エラー

リセット リセット NGを検知した時に表示されます。適切な方法を選択後、 ・ <OK>をクリックする。 ○ そのまま継続する (1)<点検を中断する> 通信不良、画面フリーズ等で自動点検が進行しなくなった ○ 項目の最初からやり直す 場合や車両キ-ONを停止させたい時等に選択して下さい。 再度、最初から点検をやり直して下さい。 ②くそのまま継続する> OK. 自動点検中にエラー検知をした後、表示された時に選択して 下さい。エラー検知直後に点検を中断すると不具合が重複 している場合、表示がされなくなります。

③<項目の最初からやり直す> 自動点検中にエラー検知をした後、表示された時に選択して 下さい。2、3回繰り返しても改善されない場合はその部位が 故障している可能性があります。<そのまま継続する>を 選択して、自動点検を進めて下さい。

通信エラー
通信ができません。 一度キーオフした後再度キーオンし、 ソフトを再起動してください。
OK

1)通信エラー

NCUとパソコンの通信不能時に表示します。この エラーが出たら画面指示通りの手順を実施して 下さい。再起動する前に下記項目を確認して下さい。

①通信ケーブルは接続されているか?
 ②キーONになっているか?
 ③通信ポートの選択に誤りはないか?
 ④緊急停止スイッチは押されていないか?
 ⑤バッテリー直後のヒュースに断線はないか?
 ⑥IG信号の取り出しに不備はないか?

15-
【60秒のタイムアウトです】 入口圧力及び入口温度がアクセルの踏み込みに よる既定値まで上がりませんでした。 再度実施してくたさい。あるいはセンサが故障し ている可能性があります。
ОК

2)タイムアウトエラー

自動点検画面で指示が出たが、一定時間以上 その指示が実行されなかった時に表示します。 <OK>をクリックするとリセット画面が表示されます。 <項目の最初からやり直す>を選択し<OK> をクリックするとエラー直前の状態から再開します。